



2015 年度第 1 四半期決算報告書

参考和訳

プレスリリース

2015 年 4 月 30 日、パリ発

事業部門の営業収益は力強く成長

- CIB および専門業務部門が極めて高い業績を収める
- 国内市場部門も成長
- 2014 年度に実施した買収による好影響
- 顕著な為替効果

事業部門の営業収益：前年同期比 **+13.7%**

事業部門の営業総利益は大幅増

事業部門の営業総利益：前年同期比 **+20.3%**

リスク費用は全般的に安定推移

61 bp
(貸倒引当金純繰入額 / 融資残高)

四半期純利益が急増

破綻処理基金への初回拠出金の影響*にもかかわらず好業績

株主帰属純利益：16 億 4800 万ユーロ（前年同期比 **+17.5%**）

一時項目を除く自己資本利益率：9.6%**

ユーロ圏では借入需要が緩やかに回復

国内市場部門融資残高：前年同期比 **+1.6%**

盤石なバランスシート

バーゼル 3 基準“全面適用”エクイティ TIER1 比率：10.3%***

* フランスのシステミックリスク税通減分相殺後の推定値：-2 億 4500 万ユーロ；** 特別項目に関わる修正後および年率換算後の ROE；*** 2015 年 3 月末現在。経過措置なしで全ての資本要求指令 4 (CRD4) 規則を考慮した比率



2015年4月29日にBNPパリバ取締役会が開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2015年度第1四半期の業績が検討されました。

破綻処理基金への初回拠出金の影響にも関わらず高い利益成長

BNPパリバグループは当四半期において全般的に好業績を収めました。これには積極的な販売およびマーケティング活動に加え、事業部門が力強い成長を遂げたことが貢献しました。ユーロ圏では景気の復調に伴い借入需要が緩やかに回復しています。米国およびアジア地域においては、グループは事業開発で高い成果を収めました。

営業収益は当四半期に110億6500万ユーロに上り、前年同期比11.6%の増収となりました。当四半期の営業収益には、自己負債の再評価に関わる修正額（Own Credit Adjustment: OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（Debt Value Adjustment: DVA）による影響として、+3700万ユーロに上る一時項目が含まれていました。これに対し、前年同期の営業収益に対する一時項目の影響は、合計で+2億3700万ユーロでした。

事業部門合計の営業収益は当四半期に急増しましたが、とりわけホールセールバンキング事業（CIB）および専門的金融部門の好業績に加え、2014年度に実施した買収による好影響、さらには有利な為替効果がこれに貢献していました。その結果、事業部門合計の営業収益は当四半期に前年同期比13.7%の増収となり、部門別では国内市場部門¹で2.3%の増収、国際金融サービス部門で20.3%の増収、およびCIBで23.7%の増収を果たしました。

営業費用は当四半期に78億800万ユーロとなり、前年同期比14.9%増加しました。当四半期の営業費用には、一時費用として、Simple & Efficient計画に関わる変革費用に加え、2014年度に買収に関わる事業再編費用からの影響が合計で1億3000万ユーロ含まれていました（前年同期の一時費用は1億4200万ユーロ）。当四半期の営業費用にはまた、破綻処理基金への初回拠出金による影響²として2億4500万ユーロが含まれていました。なお、IFRIC解釈指針第21号「賦課金」の解釈に基づき、2015年度に必要と推測される拠出金の全額を当四半期に計上しました。

事業部門合計の営業費用は前年同期比10.7%増加しましたが、全体として正のジョーズ効果（3ポイント）を生み出しました。部門別では、営業費用は国内市場部門¹で1.1%増加し、国際金融サービス部門で20.6%増加するとともに、CIBでは13.4%増加しました。

営業総利益は当四半期に前年同期比4.5%増加し、32億5700万ユーロに上りました。また、事業部門合計では、20.3%の急増を果たしました。

グループのリスク費用は当四半期に3.7%減少し、10億4400万ユーロとなりました（融資残高の61bpに相当）。当四半期のリスク費用には、2014年第1四半期に発生した、東欧の非常事態に起因する一過性の引当金繰入額1億ユーロが含まれています。かかる影響を除くと、リスク費用は当四半期にほぼ安定推移しました。

当四半期の営業外損益は、3億3900万ユーロの利益となりました。これにはとりわけ、非戦略的な投資先の持分売却により生じたキャピタルゲインの9400万ユーロ³、およびクレピュールとコリオの合併により生じたキャピタルゲインの6700万ユーロが大きく貢献していました。これに対し、前年同期の営業外損益は9600万ユーロの利益でした。

これらを受けて当四半期の税引前利益は、前年同期比19.8%増加し25億5200万ユーロに上りました。なお、事業部門合計の税引前利益は前年同期比38.6%の増加を果たしました。

以上から、当四半期の株主帰属純利益は16億4800万ユーロに上り（対して前年同期は14億300万ユーロ）、前年同期と比べて17.5%の増益となりました。なお、一時項目を除き、かつ破綻処理基金への初回拠出金の影響²を排除すると、当四半期の株主帰属純利益は前年同期比38.7%の大幅増益でした。

¹ 国内市場部門のプライベート・バンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）。

² フランスのシステミックリスク税通減分相殺後の推定値。

³ CIBのコーポレートバンキング部門へ7400万ユーロを配分、コーポレート・センターへ2000万ユーロを配分。



自己資本利益率（ROE）は、一時項目を除く一方で、破綻処理基金への初回拠出金の影響を含めた場合、当四半期に 9.6%となりました。

グループのバランスシートは盤石です。2015年3月末現在、バーゼル3基準全面適用のエクイティ Tier 1 比率¹は 10.3%でした。また、バーゼル3基準全面適用のレバレッジ比率²は 3.4%³でした。さらに、グループの即時利用可能な余剰資金は、2015年3月末現在で 3010 億ユーロに上っており（2014年12月末は 2910 億ユーロ）、これは短期資金調達との関係で 1年以上の余裕資金があることを意味します。

1株当たり純資産額は 2015年3月末現在で 70.2ユーロに上り、2008年12月末からの年平均成長率は 7.1%となりました。

さらに、グループは、米司法当局との包括的和解の一環として合意された是正計画を積極的に実施するとともに、引き続き内部統制およびコンプライアンス体制の強化を押し進めています。

*
* *

¹ 経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）を考慮した比率。

² 2014年10月10日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき、経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）を考慮した比率。

³ 今後 Tier 1 資本として算入不能になる項目を、算入可能な項目に置き換えて算定。



リテールバンキングおよびサービス事業

国内市場部門

欧州では借入需要が緩やかに回復するなかにあつて、国内市場部門の融資残高は当四半期に前年同期比 1.6%増加しました。一方、預金残高は前年同期比 5.9%増加しました。ドイツの DAB バンク買収の影響を除くと預金残高は前年同期比 4.0%増加しましたが、とりわけフランスおよびベルギーで高い伸びを示しました。国内市場部門による積極的な販売およびマーケティング活動の成果は、フランス、イタリアおよびベルギーにおいて、プライベート・バンキング業務の運用資産残高が引き続き伸びたことに現れています（当四半期に前年同期比 5.0%増加）。

営業収益¹は当四半期に 40 億 2200 万ユーロに上り、前年同期比 2.3%の増収でした。とりわけベルギー国内リテールバンキング（BRB）および専門的金融業務（個人投資家部門、アルバル、およびリーシング・ソリューションズ）が高い伸びを示した一方、長引く低金利環境の影響がこれを一部打ち消す格好となりました。営業費用¹は、継続的なコスト抑制努力が奏功した結果、当四半期に 26 億 7300 万ユーロとなり、前年同期比 1.1%の上昇に留まりました。これを受けて国内市場部門で 1.2 ポイントの正のジョーズ効果が生み出され、引き続き業務効率が改善しました。

営業総利益¹は当四半期に 13 億 4900 万ユーロとなり、前年同期比 4.7%増加しました。

リスク費用は、イタリアでの若干の改善も含め、全体として当四半期に減少しました。以上から、プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を国内市場部門から国際金融サービス部門へ配分した後、当四半期の税引前利益²は 7 億 7700 万ユーロに上り、前年同期比 17.7%の大幅増益となりました。

フランス国内リテールバンキング（FRB）

フランス国内リテールバンキング（FRB）部門による営業展開の成果は、当四半期に融資残高が前年同期比 1.3%増加したことに現れていますが、法人および個人顧客セグメントの借入需要の緩やかな回復に支えられていました。預金が引き続き順調に伸び、とりわけ当座預金が牽引したことから、預金残高は前年同期比 4.8%増加しました。FRB は積極的に営業活動を展開し、2014 年に成功裡にスタートした *BNP Paribas Entrepreneurs 2016* 計画の一環として、中小企業（SME）を支援する新たなプログラムを始動させましたが、同プログラムには 100 億ユーロの資金が予定されていることは注目に値します。FRB はまた、革新的な企業やスタートアップ起業家の支援において新たな段階に進みつつあり、かかる顧客層の特殊なニーズにより良く応えるために WAI（We Are Innovation）センターを開設しました。

営業収益³は当四半期に 16 億 8300 万ユーロとなり、前年同期比 2.2%の減収でした。純利息収入は前年同期比 3.5%減少しましたが、その背景には長引く低金利環境から住宅ローンの借り換えが増加したことがありました。ここへ来ての借入需要の復調による影響は、当四半期において限定的なものでした。手数料収入は前年同期比-0.3%と若干の減少でした。これらを受けて、FRB は顧客預金の金利を見直すとともに、オフバランス貯蓄商品を開発中です。

コスト管理が極めて良好なことから、当四半期の営業費用³は前年同期比 0.4%減少しました。

営業総利益³は当四半期に 5 億 5300 万ユーロとなり、前年同期と比べて 5.5%減少しました。

¹ フランス（PEL/CEL の影響を除く）、イタリア、ベルギーおよびルクセンブルクの国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

² PEL/CEL の影響を除く。

³ PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



リスク費用¹は依然として極めて低水準に留まり、融資残高の 25bp となりました。また、前年同期と比べて 1900 万ユーロの減少でした。

以上から、フランス国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を国際金融サービス部門へ配分した後、FRB の税引前利益²は当四半期に 4 億 2400 万ユーロとなり、前年同期比 3.4%の減益でした。

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc)

BNL バンカ・コメルシアーレ (BNL bc) は、事業環境が穏やかに改善するなか、引き続きビジネスモデルの調整を行いました。

融資残高は、個人向け貸出の緩やかな回復にも関わらず、法人顧客および小規模事業者セグメントの最上位層の選別的見直しを継続したことから、当四半期に前年同期比 1.6%減少しました。預金残高は、特に法人顧客セグメントの最もコスト高な預金を集中的に減少させたため、当四半期に 4.6%減少しました。BNL bc は引き続きオフバランス貯蓄商品の開発を押し進めた結果、生命保険残高は前年同期比 12.3%増加し、またミューチュアルファンドの残高は前年同期比 32.4%の大幅増を果たしました。さらに、プライベート・バンキングでは事業が順調に伸びたことから、運用資産残高が前年同期比 6.8%増加しました。

営業収益³は、当四半期に前年同期と比べて 2.0%減少し、8 億 200 万ユーロとなりました。純利息収入は前年同期比 4.3%減少しました。これは、先述の上位法人顧客向け融資の見直しに起因するもので、個人顧客セグメントでの増加がこれを補うに足りませんでした。手数料収入は、融資に関わる手数料が減少したものの、オフバランス貯蓄商品の好調により 3.1%増加しました。

業務効率改善策が奏功したおかげで、営業費用³は前年同期比 0.7%の減少を果たし、4 億 5300 万ユーロとなりました。

これらを受けて営業総利益³は 3 億 4900 万ユーロとなり、前年同期比 3.6%減少しました。

当四半期のリスク費用³は、融資残高の 166bp 相当で依然として高い水準でしたが、それでも前年同期と比べて -4300 万ユーロと穏やかに減少しました。

以上から、イタリア国内プライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 を国際金融サービス部門へ配分した後、BNL bc の税引前利益は当四半期に 1700 万ユーロとなり、前年同期から 2600 万ユーロ増加しました。

¹ PEL/CEL の影響を除き、フランス国内プライベート・バンキングの 100%を含む。

² PEL/CEL の影響を除く。

³ イタリア国内プライベート・バンキングの 100%を含む。



ベルギー国内リテールバンキング (BRB)

ベルギー国内リテールバンキング (BRB) は当四半期に好業績を収めました。融資残高は、とりわけ個人向け貸出が高い伸びを示すとともに法人顧客向け融資も増加したことから、前年同期比 **3.3%**増加しました。一方、預金残高は、当座預金の高い伸びが牽引し前年同期と比べて **3.5%**増加しました。

営業収益¹は、当四半期に前年同期比 **6.2%**の増収となり、**8億9400万ユーロ**に上りました。純利息収入は、融資残高の増加に加えマージンが底堅く推移したことから、前年同期比 **3.8%**増加しました。手数料収入は、金融およびクレジット商品に関わる手数料の伸びが牽引し、前年同期比 **13.7%**の増加を果たしました。

当四半期の営業費用¹は**7億2800万ユーロ**となり、前年同期と比べて **0.4%**の増加に留まったことから、**5.8ポイント**の正のジョーズ効果が生み出されました。

営業総利益¹は当四半期に**1億6600万ユーロ**に上り、前年同期と比べて **41.9%**の大幅増となりました。しかも、当四半期の営業総利益の金額には、IFRIC 解釈指針第 21 号「賦課金」の解釈による影響が反映されていました。

リスク費用¹は、当四半期に融資残高の **15bp** で依然として低い水準に留まり、また前年同期と比べて **1900万ユーロ**減少しました。

以上から、ベルギー国内プライベート・バンキング業務の純利益の **3分の1** を国際金融サービス部門へ配分した後、BRB の税引前利益は当四半期に**1億ユーロ**に上り、前年同期から**+5100万ユーロ**の急回復を遂げました。

その他国内市場部門 (アルバル、リーシング・ソリューションズ、個人投資家部門、ルクセンブルク国内リテールバンキング)

その他国内市場部門の専門的金融業務は、積極的な事業展開を押し進めました。アルバルでは、ファイナンス・フリートの車両数が前年同期比 **7.1%**増加して **734,000台**に上りました。個人投資家部門では、預金残高が前年同期比**+65.4%**の激増を遂げました。なお、DAB バンクの買収による効果を排除すると、預金残高は、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いても、前年同期比 **18.6%**の大幅増となりました。これには新規顧客の獲得が高水準で推移したことに加え、ドイツで Hello bank! の成功を収めたことが貢献しています。リーシング・ソリューションズでは、コアポートフォリオの残高が順調に伸びた一方で、ノンコア資産の継続的な削減がこれを相殺しました。

ルクセンブルク国内リテールバンキングでは、住宅ローンの伸びに支えられて、融資残高が前年同期比 **1.6%**増加しました。預金残高は法人顧客セグメントで高い資金流入があったことから、当四半期に **9.2%**増加しました。

当四半期の営業収益²は、前年同期比 **16.5%**の増収となり **6億4300万ユーロ**に上りましたが、これにはドイツの DAB バンク買収の影響が反映されています。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、当四半期の営業収益は、全てのビジネスユニットにおける順調な伸びに支えられて、前年同期比 **9.0%**の増収となりました。

営業費用²は、当四半期に前年同期比 **10.7%**増加して **3億6200万ユーロ**となりました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業費用は前年同期比 **0.7%**の微増に留まり、その結果、全般的に正のジョーズ効果が生み出されました。

リスク費用²は前年同期と比べて **300万ユーロ**増加し、**4700万ユーロ**となりました。

¹ ベルギー国内プライベート・バンキングの **100%**を含む。

² ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの **100%**を含む。



全体では、これら4つのビジネスユニットによる国内市場部門の税引前利益への貢献は、ルクセンブルク国内プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を国際金融サービス部門へ配分した後、当四半期に2億3600万ユーロに上り、前年同期と比べて30.4%の大幅増となりました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた増益幅は27.3%でした。

*
* *

国際金融サービス部門

国際金融サービス部門において、全てのビジネスユニットが以下のように積極的な事業展開を押し進めました。パーソナル・ファイナンス部門は国際的な事業開発を継続し、新たな提携関係を構築しました。欧州・地中海沿岸諸国部門およびバンクウェストは好業績を収めました。保険、ウェルス&アセット・マネジメントでは、運用資産残高が前年同期比+13.6%と大幅に増加しました。国際金融サービス部門はまた、2014年度に実施した以下の買収等に関わる統合を押し進めてきました：すなわち、BGZ（食糧経済銀行）の買収（欧州・地中海沿岸諸国部門）、およびLaSerの完全子会社化（パーソナル・ファイナンス部門）です。

当四半期の営業収益は37億2900万ユーロに上り、前年同期比20.3%の増収となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと4.4%の増収）。これには、全てのビジネスユニットの成長に支えられて、全体的に業績が好調であったことが反映されています。

営業費用は当四半期に23億8000万ユーロとなり、前年同期と比べて20.6%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、増加幅は+4.3%となり、また0.1ポイントと僅かながらも正のジョーズ効果を生み出しました。

営業総利益は当四半期に13億4900万ユーロに上り、前年同期比19.9%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた増加幅は+4.6%）。

リスク費用は当四半期に4億6200万ユーロとなり、前年同期比15.5%増加しました。ただし、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、前年同期比-2.7%の減少でした。

国際金融サービス部門の税引前利益は、前年同期と比べて大幅増益となり9億9800万ユーロに上りました。これは前年同期比22.6%の増益でしたが、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた増益幅は11.1%でした。

パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスは、当四半期も事業開発を押し進め、以下の業界で引き続き新たな提携関係を構築しました。銀行業界では、スペインのBCC-Grupo CajaMarと、またイタリアのPoste Italianeと提携しました。小売業ではブラジルのShoptimeと提携しました。さらに自動車およびバイク・ローンでは、スペインのPolaris & Mashと、またフランスのMV Agustaと提携しました。

融資残高は、とりわけLaSerの完全子会社化が寄与し、当四半期に前年同期比23.1%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと増加幅は2.1%となり、これにはユーロ圏における借入需要の緩やかな回復が反映されていました。

当四半期の営業収益は、前年同期比27.6%の増収となり11億8300万ユーロに上りました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと¹、増収幅は1.0%となりますが、これには特にドイツ、イタリアおよびスペインでの伸びが貢献していました。

¹ LaSerを2014年度第1四半期財務諸表において、試算ベースで完全子会社として処理。



営業費用は、当四半期に前年同期比 32.5%増加し、5億 9100万ユーロとなりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響¹を除き、かつ非経常項目を除くと、当四半期の営業費用の増加幅は+0.9%の微増となります。

リスク費用は、前年同期から 1300万ユーロ増加して 2億 9100万ユーロに上りました。なお、LaSerの完全子会社化に関わる連結範囲の変更による影響(+5000万ユーロ)を除くと、当四半期のリスク費用は前年同期と比べて 3700万ユーロ減少しました。

以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は当四半期に 3億 1600万ユーロに上り、前年同期と比べて 46.3%の大幅増益となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除いた¹増益幅は 28.8%）。

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国部門は、引き続き活発な販売およびマーケティング活動を展開しました。当四半期の預金残高は前年同期比 8.8%²増加しましたが、トルコおよびポーランドで高い伸びを示しました。融資残高は、全ての国で伸びましたが特にトルコが牽引し、当四半期に 13.7%²増加しました。当ビジネスユニットによる事業展開の成果は、トルコにおいて TEB（トルコ・エコノミ・バンク）グループのオンラインサービスとして Cepteteb が導入されたことに現れています。

当ビジネスユニットは、引き続きポーランドの BGZ（食糧経済銀行）の統合を押し進めました。BGZ と BNP パリバ・ポルスカの合併に関わる法的手続きは、近日中に完了する予定です。合併が実現した暁には、ポーランドで 7 番目に大きな銀行として、4%を超す市場シェアを有するでしょう。さらに、ポーランドの大きな成長ポテンシャルを伴うダイナミックで魅力的な市場において、向こう 3~5 年の間に上位 5 位以内に入ることを目指しています。合併後の BGZ BNP パリバは、2014 年度の見積り営業収益が 5億 6800万ユーロに上るとともに、ポーランド国内の隅々にまでプレゼンスを広げることになります（目標店舗数は 500 支店）。かかる統合により、2017 年度までに極めて大きなシナジーが創出されると予想されます（8400万ユーロ）。一方、事業再編費用は 1億 600万ユーロ³と予測されます。

営業収益⁴は、取引の増加に伴い前年同期比 13.1%²の増収となり、6億ユーロに上りました。

営業費用⁴は、前年同期比 8.8%²増加し 4億 5400万ユーロとなりましたが、これには特にトルコで実施された支店網の拡充が影響していました。

リスク費用⁴は、当四半期に 1億 5100万ユーロに上り、融資残高の 161bp 相当となりました。また、前年同期の水準からは 4500万ユーロ増加しました。

以上から、トルコのプライベート・バンキング業務の純利益の 3 分の 1 をウェルス&アセット・マネジメント（国際金融サービス部門内）へ配分した後、欧州・地中海沿岸諸国部門の税引前利益は当四半期に 3700万ユーロとなり、前年同期比 0.6%²増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含む場合、当四半期の税引前利益は、顕著な為替効果を受けてほぼ倍になりました。

バンクウエスト

バンクウエストは、米国の景気拡大を背景に力強い事業展開を押し進めました。預金残高は、当座預金および普通預金の高い伸びが牽引し前年同期比 7.3%²増加しました。融資残高は、法人向けおよび消費者ローンが引き続き伸び、当四半期に 6.5%²増加しました。

¹ LaSer を 2014 年度第 1 四半期財務諸表において、試算ベースで完全子会社として処理。

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。

³ うち、1600万ユーロは 2014 年度に計上済みであり、7200万ユーロは 2015 年度に、また 1800万ユーロは 2016 年度に計上予定。

⁴ トルコのプライベート・バンキングの 100%を含む。



バンクウエストは当四半期もプライベート・バンキング業務の拡充を押し進めた結果、運用資産残高は2015年3月末現在で90億米ドルに上り、2014年3月末と比べて18%増加しました。

当四半期の営業収益¹は、取引の増加に伴い前年同期比6.1%²増加して6億6400万ユーロとなりました。

営業費用¹は4億7500万ユーロとなり、前年同期比8.5%²増加しました。これには主に規制コストの上昇が影響していました（包括的資本分析およびレビュー(Comprehensive Capital Analysis and Review: CCAR)、および中間持ち株会社(Intermediate Holding Company)の設立)。かかる影響を除くと、営業費用の増加幅は2.9%²に留まりました。その主な要因として、営業体制の強化(プライベート・バンキングおよび消費者ローン業務)が負担となった一方で、支店網の合理化による経費節減効果がこれを一部軽減しました。

当四半期にリスク費用¹は依然として極めて低水準に留まり、融資残高の15bp相当でした(前年同期と比べて800万ユーロ増加)。

以上から、米国プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1をウェルス&アセット・マネジメント(国際金融サービス部門内)へ配分した後、バンクウエストの税引前利益は当四半期に1億7100万ユーロとなりました。これは、為替レート変動による影響を除くと前年同期比3.5%の減益でしたが、一方、為替レート変動による影響を含むと、ユーロに対するドル高の影響で前年同期比23.0%の増益となりました。

保険、ウェルス&アセット・マネジメント

保険、ウェルス&アセット・マネジメントでは、運用資産残高の高い伸びに加え、全てのビジネスユニットで純資金流入があったことに支えられて、収益が順調に伸びました。

運用資産残高³は、2014年3月末の水準から13.6%の大幅増となり、2015年3月末現在9690億ユーロに上りました。これには以下の2つの要因が特に貢献しました。すなわち、株式相場の上昇傾向と低金利環境のおかげで、運用パフォーマンス効果が+413億ユーロ生み出されたことに加え、ユーロ下落の影響で為替効果が+199億ユーロ生じました。当四半期は、全体で111億ユーロに上る純資金流入がありました。ウェルス&アセット・マネジメントでは、イタリアおよびフランスをはじめとする国内市場のほか、アジアでも高い資金流入がありました。保険部門では、フランス、イタリアおよびアジアで資金流入が好調でした。さらに、アセット・マネジメントでは、マネーマーケットファンドおよび債券ファンドで高い資金流入がありました。

2015年3月末現在、保険、ウェルス&アセット・マネジメントの運用資産残高³の内訳は以下のとおりでした：アセット・マネジメントは4010億ユーロ；ウェルス・マネジメントは3320億ユーロ；保険部門は2150億ユーロ；不動産管理部門は210億ユーロ。

保険部門では、当四半期に営業収益が前年同期比7.5%の増収となりました(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+6.4%)。これには金融市場の好調に加え、国際的に展開する保障保険の伸びが貢献しました。当四半期の営業費用は3億500万ユーロで、事業開発に伴い前年同期6.3%増加しました(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.0%)。以上から、税引前利益は3億400万ユーロに上り、前年同期比10.1%の増益でした(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+11.7%)。

ウェルス&アセット・マネジメントでは、当四半期の営業収益は7億2300万ユーロとなり、前年同期比5.2%の増収でした(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.5%)。これにはウェルス&アセット・マネジメントで国内市場およびアジアが好業績を収めたほか、アセット・マネジメントも業績を伸ばしたことが特に貢献しました。当四半期の営業費用は5億6300万ユーロで、前年同期比5.8%増加しました(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.6%)。

¹ 米国プライベート・バンキングの100%を含む。

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。

³ 分配金を含む。



その主要因として、引き続き事業開発を押し進めたことが挙げられます（アジアにおける富裕層向け資産運用業務、および不動産管理業務など）。以上より、国内市場部門、トルコおよび米国から、プライベート・バンキング業務の純利益の3分の1を配分された後、ウェルス&アセット・マネジメントの税引前利益は当四半期に1億7000万ユーロに上り、前年同期比3.7%の増益となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.1%）。

*
* *

ホールセールバンキング事業（CIB）

ホールセールバンキング事業（CIB）は、金融機関および大口法人を顧客層とし、当四半期に極めて高い業績を収めました。全てのビジネスユニットで顧客業務が高い伸びを果した結果、営業収益は33億4600万ユーロに上り、前年同期比23.7%の大幅増収となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+12.8%）。

グローバルマーケット部門の営業収益は、当四半期に19億8600万ユーロで前年同期比28.5%の増収となりました。連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業収益は前年同期比15.0%の増収でした。当四半期の好業績には、株式相場の活況を受けて顧客の取引が増加したことに加え、欧州をはじめとする為替および金利市場でボラティリティが上昇したことが貢献しました。バリュー・アット・リスク（VaR）は、当四半期も極めて低い水準に留まりました（3100万ユーロ）。FICC（債券・為替・コモディティ）業務の営業収益は当四半期に12億6600万ユーロに上り、前年同期比31.5%増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+15.8%）。とりわけコモディティ・デリバティブおよび為替業務が高い伸びを示したほか、クレジット業務および債券発行業務も好調でした。なお、債券発行部門は、ユーロ建て全社債発行でNo.2の地位を獲得し、また全国際債券でNo.9にランクインしました。株式およびプライムサービス業務の営業収益は、当四半期に7億2000万ユーロに上り、前年同期の高い水準と比較しても23.5%の増収となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+13.6%）。これにはフロー業務の取引が高水準であったことに加え、仕組商品の需要が維持されたことが貢献しました。

証券管理部門の営業収益は当四半期に4億4000万ユーロに上り、前年同期比18.6%の増収となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+15.4%）。カストディ資産が前年同期比27.3%増加したほか、取引件数が20.5%増加するなど、積極的な営業活動の展開が増収を支えました。

コーポレートバンキング部門の営業収益は当四半期に9億2000万ユーロに上り、前年同期比16.8%の増収となりました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+7.1%）。営業収益は北南米で急増したほか、アジアパシフィックでも増収となり、さらに欧州では市場の回復に伴い相当な伸びを示しました。融資残高は当四半期に1200億ユーロとなり、前年同期比12.1%増加しました。北南米で高い伸びがあったほか、アジアおよび欧州でも増加した結果、エネルギーおよびコモディティ分野の縮小を補いました。預金残高は、国際的なキャッシュマネジメント業務の発展が特に奏功し、当四半期に920億ユーロに上ったことから、前年同期比26.8%の大幅増となりました。また、株式関連業務も急回復を遂げ（欧州におけるエクイティリンク債の発行でNo.1を獲得）、さらにM&A（企業合併・買収）業務も好調でした。

CIBの営業費用は当四半期に22億6600万ユーロとなり、前年同期比13.4%増加しました。なお、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと、営業費用は事業の成長に沿うかたちで4.9%増加しました。継続的な事業開発投資や規制コスト上昇による負担が、Simple & Efficient計画による費用節減効果を上回った格好でした。

CIBのリスク費用は当四半期に低水準に留まり（9600万ユーロ）、前年同期からほぼ横ばいでした。

非戦略的な投資先の持分売却に伴う一過性のキャピタルゲイン7400万ユーロを計上した後、CIBの税引前利益は当四半期に11億2800万ユーロに上り、前年同期と比べて+88.0%の躍進を遂げました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+50.1%）。



*
* *

コーポレート・センター

コーポレート・センターの営業収益は、当四半期に+1 億 3700 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は+3 億 300 万ユーロでした。当四半期の営業収益に含まれる主要項目は以下のとおりです：自己負債の再評価に関わる修正額（OCA）およびデリバティブに関わる債務価値調整額（DVA）が合計で+3700 万ユーロ（前年同期は-6400 万ユーロ）；BNP パリバ・プリンシパル・インベストメンツからは、業績の好調を反映した高い収益貢献がありました。なお、コーポレート・センターの前年同期の営業収益には、投資先企業に対する持分の売却から生じた一過性のキャピタルゲイン 3 億 100 万ユーロが含まれていました。

営業費用は当四半期に 5 億 5600 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は 2 億 4000 万ユーロの低い水準でした。当四半期の営業費用にはとりわけ以下の要因が影響していました：(i) 破綻処理基金への初回拠出金として 2 億 4500 万ユーロを計上¹（なお、IFRIC 解釈指針第 21 号「賦課金」の解釈に基づき、2015 年度に必要と推測される拠出金の全額を当四半期に計上）；(ii) Simple & Efficient 計画に関わる変革費用 1 億 1000 万ユーロ（前年同期は 1 億 4200 万ユーロ）；(iii) 2014 年度に実施した買収に関わる事業再編費用 2000 万ユーロ（前年同期はゼロ）。

当四半期のリスク費用は軽微に留まりました（前年同期は 2000 万ユーロ）。

営業外損益は当四半期に 9400 万ユーロの利益となりましたが、これに対し前年同期は 1300 万ユーロの利益でした。当四半期の主な項目として、クレピエールとコリオの合併により生じたキャピタルゲイン 6700 万ユーロに加え、非戦略的な投資先に対する持分の売却から生じたキャピタルゲインのうち、コーポレート・センターに配分された 2000 万ユーロ²が挙げられます。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益は当四半期に -3 億 2300 万ユーロとなりましたが、これに対し前年同期は+5600 万ユーロでした。

*
* *

財務構造

グループは盤石なバランスシートを有しています。

バーゼル 3 基準全面適用のエクイティ Tier 1 比率³は、2015 年 3 月末現在で 10.3%となり、2014 年 12 月末の水準から安定推移しました。これには主に以下の要因が影響していました：当四半期の純利益⁴（+35bp）；IFRIC 第 21 号の適用により、2015 年度に発生する特定の税金の全額を当四半期に計上したことによる周期的な影響（-9bp）；45%の配当性向を前提（-11bp）；リスク加重資産の増加⁵（-15bp）。一方、エクイティ Tier 1 比率に対する為替の影響は全体として限定的でした。

¹フランスのシステムリスク税減分相殺後の推定値。

² 9400 万ユーロに上るキャピタルゲインのうち、7400 万ユーロを CIB のコーポレートバンキング部門へ配分し、残る 2000 万ユーロはコーポレート・センターへ配分。

³ 経過措置なしで全ての資本要求指令 4（CRD4）規則を考慮し算定した比率。また、欧州議会・理事会規則 Regulation (EU) No 575/2013 第 26 条第 2 項に従う。

⁴ 配当金の考慮前、また IFRIC 第 21 号「賦課金」の解釈を適用せず。

⁵ 為替レート変動による影響を除く。



バーゼル3基準全面適用のレバレッジ比率¹はTier1資本²全部に基づき算定されますが、同比率は2015年3月末現在で3.4%となりました。当四半期にバランスシート全体の規模が拡大しましたが、これには多大な為替効果が影響していました（とりわけ対ユーロで大幅なドル高が進み、当四半期は1ユーロに対して1.21米ドルから1.07米ドルへと上昇しました）。

グループの即時利用可能な余剰資金は、2015年3月末現在で3010億ユーロに上りました（対して、2014年12月末現在は2910億ユーロ）。これは短期資金調達との関係で、1年以上の余裕資金があることを意味します。

*
* *

以上の決算内容について、ジャン＝ローラン・ボナフェ最高経営責任者は、次のように述べています。

「事業部門のビジネス活動が非常に好調であったことから、BNPパリバは当四半期に高い利益成長を遂げました。

ユーロ圏における借入需要の緩やかな回復や、米国およびアジアでの事業の確かな成長に加え、キャピタルマーケット業務では主要顧客との活発な取引が、営業収益の成長を支えました。

グループの盤石な財務体質を背景に、BNPパリバは世界各国のお客様にサービスを提供するとともに、貯蓄と投資ニーズ両面に貢献しながら、実体経済への資金供給において積極的な役割を果たしてまいります。」

¹ 2014年10月10日付けの欧州委員会（EC）委任法令に基づき、経過措置なしで全ての資本要求指令4（CRD4）規則を考慮した比率。
² 今後Tier1資本として算入不能になる項目を、算入可能な項目に置き換えて算定。



連結損益計算書

	1Q15	1Q14	1Q15 / 1Q14	4Q14	1Q15/ 4Q14
(単位：百万ユーロ)					
営業収益	11,065	9,911	+11.6%	10,150	+9.0%
営業費用および減価償却費	-7,808	-6,793	+14.9%	-6,880	+13.5%
営業総利益	3,257	3,118	+4.5%	3,270	-0.4%
リスク費用	-1,044	-1,084	-3.7%	-1,012	+3.2%
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	n.s.	-50	n.s.
営業利益	2,213	2,034	+8.8%	2,208	+0.2%
持分法による投資損益	137	103	+33.0%	80	+71.3%
その他営業外項目	202	-7	n.s.	-268	n.s.
営業外損益	339	96	n.s.	-188	n.s.
税引前利益	2,552	2,130	+19.8%	2,020	+26.3%
法人税	-811	-653	+24.2%	-566	+43.3%
少数株主帰属純利益	-93	-74	+25.7%	-77	+20.8%
株主帰属純利益	1,648	1,403	+17.5%	1,377	+19.7%
営業収益対コスト比率	70.6%	68.5%	+2.1 pt	67.8%	+2.8 pt

BNP パリバの 2015 年度第 1 四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリース、およびこれに添付したプレゼンテーション資料に含まれています。

法令上要求される開示情報は全て、登録書類を含めて、<http://invest.bnpparibas.com> の「Results (業績)」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典 L.451-1-2 条およびフランス金融市場庁 (Autorité des Marchés Financiers) の一般規則第 222-1 条以降の規定に従い、BNP パリバが公表しています。



2015年度第1四半期 - コア事業別業績

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計	
	国内市場 部門	国際金融 サービス 部門					
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益	3,853	3,729	3,346	10,928	137	11,065	
	対前年同期比	+1.3%	+20.3%	+23.7%	+13.7%	-54.8%	+11.6%
	対前四半期比	+1.4%	+1.7%	+37.3%	+10.3%	-43.9%	+9.0%
営業費用および減価償却費	-2,606	-2,380	-2,266	-7,252	-556	-7,808	
	対前年同期比	+1.0%	+20.6%	+13.4%	+10.7%	n.s.	+14.9%
	対前四半期比	+5.5%	+6.7%	+26.2%	+11.7%	+44.4%	+13.5%
営業総利益	1,247	1,349	1,080	3,676	-419	3,257	
	対前年同期比	+1.9%	+19.9%	+53.0%	+20.3%	n.s.	+4.5%
	対前四半期比	-6.4%	-6.2%	+68.5%	+7.8%	n.s.	-0.4%
リスク費用	-488	-462	-96	-1,046	2	-1,044	
	対前年同期比	-14.1%	+15.5%	+0.0%	-1.7%	n.s.	-3.7%
	対前四半期比	-3.4%	+5.0%	n.s.	+7.4%	n.s.	+3.2%
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	0	0	0	
	対前年同期比	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
	対前四半期比	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.
営業利益	759	887	984	2,630	-417	2,213	
	対前年同期比	+15.7%	+22.3%	+61.3%	+32.1%	n.s.	+8.8%
	対前四半期比	-8.2%	-11.1%	+60.8%	+7.9%	+82.1%	+0.2%
持分法による投資損益	5	106	8	119	18	137	
その他営業外項目	-15	5	136	126	76	202	
税引前利益	749	998	1,128	2,875	-323	2,552	
	対前年同期比	+13.5%	+22.6%	+88.0%	+38.6%	n.s.	+19.8%
	対前四半期比	-7.1%	-9.4%	+78.5%	+13.2%	-37.8%	+26.3%

	リテールバンキング およびサービス事業		ホールセール バンキング 事業	事業部門 合計	その他業務	グループ 合計	
	国内市場 部門	国際金融 サービス 部門					
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益	3,853	3,729	3,346	10,928	137	11,065	
	前年同期	3,804	3,099	2,705	9,608	303	9,911
	前四半期	3,801	3,668	2,437	9,906	244	10,150
営業費用および減価償却費	-2,606	-2,380	-2,266	-7,252	-556	-7,808	
	前年同期	-2,580	-1,974	-1,999	-6,553	-240	-6,793
	前四半期	-2,469	-2,230	-1,796	-6,495	-385	-6,880
営業総利益	1,247	1,349	1,080	3,676	-419	3,257	
	前年同期	1,224	1,125	706	3,055	63	3,118
	前四半期	1,332	1,438	641	3,411	-141	3,270
リスク費用	-488	-462	-96	-1,046	2	-1,044	
	前年同期	-568	-400	-96	-1,064	-20	-1,084
	前四半期	-505	-440	-29	-974	-38	-1,012
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	0	0	0	0	0	
	前年同期	0	0	0	0	0	0
	前四半期	0	0	0	0	-50	-50
営業利益	759	887	984	2,630	-417	2,213	
	前年同期	656	725	610	1,991	43	2,034
	前四半期	827	998	612	2,437	-229	2,208
持分法による投資損益	5	106	8	119	18	137	
	前年同期	4	88	-4	88	15	103
	前四半期	1	90	16	107	-27	80
その他営業外項目	-15	5	136	126	76	202	
	前年同期	0	1	-6	-5	-2	-7
	前四半期	-22	13	4	-5	-263	-268
税引前利益	749	998	1,128	2,875	-323	2,552	
	前年同期	660	814	600	2,074	56	2,130
	前四半期	806	1,101	632	2,539	-519	2,020
法人税							-811
少数株主帰属純利益							-93
株主帰属純利益							1,648



連結四半期業績の推移

(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
グループ					
営業収益	11,065	10,150	9,538	9,569	9,911
営業費用および減価償却費	-7,808	-6,880	-6,483	-6,368	-6,793
営業総利益	3,257	3,270	3,055	3,201	3,118
リスク費用	-1,044	-1,012	-754	-855	-1,084
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	-50	0	-5,950	0
営業利益	2,213	2,208	2,301	-3,604	2,034
持分法による投資損益	137	80	86	138	103
その他営業外項目	202	-268	63	16	-7
税引前利益	2,552	2,020	2,450	-3,450	2,130
法人税	-811	-566	-753	-671	-653
少数株主帰属純利益	-93	-77	-102	-97	-74
株主帰属純利益	1,648	1,377	1,595	-4,218	1,403
営業収益対コスト比率	70.6%	67.8%	68.0%	66.5%	68.5%



(単位: 百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
リテールバンキングおよびサービス事業 PEL/CEL の影響を除く					
営業収益	7,610	7,476	7,218	6,999	6,903
営業費用および減価償却費	-4,986	-4,699	-4,377	-4,207	-4,554
営業総利益	2,624	2,777	2,841	2,792	2,349
リスク費用	-950	-945	-843	-825	-968
営業利益	1,674	1,832	1,998	1,967	1,381
持分法による投資損益	111	91	81	92	92
その他営業外項目	-10	-9	21	10	1
税引前利益	1,775	1,914	2,100	2,069	1,474
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	39.7	37.9	37.6	37.5	37.6

(単位: 百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
リテールバンキングおよびサービス事業					
営業収益	7,582	7,469	7,173	6,994	6,903
営業費用および減価償却費	-4,986	-4,699	-4,377	-4,207	-4,554
営業総利益	2,596	2,770	2,796	2,787	2,349
リスク費用	-950	-945	-843	-825	-968
営業利益	1,646	1,825	1,953	1,962	1,381
持分法による投資損益	111	91	81	92	92
その他営業外項目	-10	-9	21	10	1
税引前利益	1,747	1,907	2,055	2,064	1,474
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	39.7	37.9	37.6	37.5	37.6

(単位: 百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
国内市場部門 (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの 100%を含む)* PEL/CEL の影響を除く					
営業収益	4,022	3,930	3,927	3,910	3,932
営業費用および減価償却費	-2,673	-2,531	-2,437	-2,371	-2,643
営業総利益	1,349	1,399	1,490	1,539	1,289
リスク費用	-490	-506	-493	-507	-568
営業利益	859	893	997	1,032	721
持分法による投資損益	5	1	-2	-10	4
その他営業外項目	-15	-22	3	1	0
税引前利益	849	872	998	1,023	725
ウェルズ&アセット・マネジメント帰属純利益	-72	-59	-61	-63	-65
国内市場部門税引前利益	777	813	937	960	660
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	18.6	18.5	18.6	18.7	18.8

(単位: 百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
国内市場部門 (フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルクのプライベート・バンキングの 2/3を含む)					
営業収益	3,853	3,801	3,759	3,780	3,804
営業費用および減価償却費	-2,606	-2,469	-2,376	-2,310	-2,580
営業総利益	1,247	1,332	1,383	1,470	1,224
リスク費用	-488	-505	-491	-506	-568
営業利益	759	827	892	964	656
持分法による投資損益	5	1	-3	-10	4
その他営業外項目	-15	-22	3	1	0
税引前利益	749	806	892	955	660
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	18.6	18.5	18.6	18.7	18.8

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の 100%を含む。



(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
フランス国内リテールバンキング（フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む）*					
営業収益	1,655	1,651	1,671	1,707	1,720
うち受取利息純額	943	984	981	1,030	1,006
うち手数料	712	667	690	677	714
営業費用および減価償却費	-1,130	-1,169	-1,135	-1,072	-1,135
営業総利益	525	482	536	635	585
リスク費用	-89	-106	-85	-103	-108
営業利益	436	376	451	532	477
営業外損益	1	0	2	0	1
税引前利益	437	376	453	532	478
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-41	-32	-37	-35	-39
フランス国内リテールバンキング税引前利益	396	344	416	497	439
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	6.8	6.7	6.7	6.7	6.8

(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
フランス国内リテールバンキング（フランス国内プライベート・バンキングの100%を含む）* PEL/CELの影響を除く					
営業収益	1,683	1,658	1,716	1,712	1,720
うち受取利息純額	971	991	1,026	1,035	1,006
うち手数料	712	667	690	677	714
営業費用および減価償却費	-1,130	-1,169	-1,135	-1,072	-1,135
営業総利益	553	489	581	640	585
リスク費用	-89	-106	-85	-103	-108
営業利益	464	383	496	537	477
営業外損益	1	0	2	0	1
税引前利益	465	383	498	537	478
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-41	-32	-37	-35	-39
フランス国内リテールバンキング税引前利益	424	351	461	502	439
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	6.8	6.7	6.7	6.7	6.8

(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
フランス国内リテールバンキング（フランス国内プライベート・バンキングの2/3を含む）					
営業収益	1,580	1,587	1,604	1,641	1,648
営業費用および減価償却費	-1,097	-1,137	-1,104	-1,042	-1,102
営業総利益	483	450	500	599	546
リスク費用	-88	-106	-85	-102	-108
営業利益	395	344	415	497	438
営業外損益	1	0	1	0	1
税引前利益	396	344	416	497	439
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	6.8	6.7	6.7	6.7	6.8

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位: 百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの100%を含む) *					
営業収益	802	798	790	813	818
営業費用および減価償却費	-453	-458	-424	-431	-456
営業総利益	349	340	366	382	362
リスク費用	-321	-322	-348	-364	-364
営業利益	28	18	18	18	-2
営業外損益	-1	0	0	0	0
税引前利益	27	18	18	18	-2
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-10	-7	-7	-8	-7
BNL バンカ・コメルシアーレ税引前利益	17	11	11	10	-9
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.4	5.6	5.7	5.8	5.9

(単位: 百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
BNL バンカ・コメルシアーレ (イタリア国内プライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	783	783	774	797	804
営業費用および減価償却費	-444	-450	-416	-423	-449
営業総利益	339	333	358	374	355
リスク費用	-321	-322	-347	-364	-364
営業利益	18	11	11	10	-9
営業外損益	-1	0	0	0	0
税引前利益	17	11	11	10	-9
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.4	5.6	5.7	5.8	5.9

(単位: 百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの100%を含む) *					
営業収益	894	875	846	822	842
営業費用および減価償却費	-728	-573	-572	-564	-725
営業総利益	166	302	274	258	117
リスク費用	-33	-28	-36	-15	-52
営業利益	133	274	238	243	65
持分法による投資損益	0	3	4	1	1
その他営業外項目	-13	-23	3	1	0
税引前利益	120	254	245	245	66
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-20	-19	-17	-19	-17
ベルギー国内リテールバンキング税引前利益	100	235	228	226	49
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4

(単位: 百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ベルギー国内リテールバンキング (ベルギー国内プライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	850	834	808	782	803
営業費用および減価償却費	-705	-552	-552	-543	-703
営業総利益	145	282	256	239	100
リスク費用	-32	-27	-35	-15	-52
営業利益	113	255	221	224	48
持分法による投資損益	0	3	4	1	1
その他営業外項目	-13	-23	3	1	0
税引前利益	100	235	228	226	49
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.6	3.5	3.5	3.4	3.4

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門（ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの100%を含む）*					
営業収益	643	599	575	563	552
営業費用および減価償却費	-362	-331	-306	-304	-327
営業総利益	281	268	269	259	225
リスク費用	-47	-50	-24	-25	-44
営業利益	234	218	245	234	181
持分法による投資損益	4	-2	-8	-11	2
その他営業外項目	-1	1	0	0	0
税引前利益	237	217	237	223	183
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-1	-1	0	-1	-2
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門税引前利益	236	216	237	222	181
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7

(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ルクセンブルクを含むその他国内市場部門（ルクセンブルク国内プライベート・バンキングの2/3を含む）					
営業収益	640	597	573	560	549
営業費用および減価償却費	-360	-330	-304	-302	-326
営業総利益	280	267	269	258	223
リスク費用	-47	-50	-24	-25	-44
営業利益	233	217	245	233	179
持分法による投資損益	4	-2	-8	-11	2
その他営業外項目	-1	1	0	0	0
税引前利益	236	216	237	222	181
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	2.8	2.7	2.7	2.7	2.7

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
国際金融サービス部門					
営業収益	3,729	3,668	3,414	3,214	3,099
営業費用および減価償却費	-2,380	-2,230	-2,001	-1,897	-1,974
営業総利益	1,349	1,438	1,413	1,317	1,125
リスク費用	-462	-440	-352	-319	-400
営業利益	887	998	1,061	998	725
持分法による投資損益	106	90	84	102	88
その他営業外項目	5	13	18	9	1
税引前利益	998	1,101	1,163	1,109	814
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	21.1	19.4	19.0	18.9	18.7

(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
パーソナル・ファイナンス					
営業収益	1,183	1,154	1,089	933	927
営業費用および減価償却費	-591	-575	-501	-440	-446
営業総利益	592	579	588	493	481
リスク費用	-291	-292	-276	-249	-278
営業利益	301	287	312	244	203
持分法による投資損益	17	35	12	23	13
その他営業外項目	-2	-5	15	6	0
税引前利益	316	317	339	273	216
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.5	3.4	3.3	3.3	3.3

(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの100%を含む) *					
営業収益	600	622	543	491	448
営業費用および減価償却費	-454	-424	-350	-344	-349
営業総利益	146	198	193	147	99
リスク費用	-151	-136	-66	-49	-106
営業利益	-5	62	127	98	-7
持分法による投資損益	42	24	24	28	26
その他営業外項目	1	2	1	1	0
税引前利益	38	88	152	127	19
ウェルズ&アセット・マネジメント帰属純利益	-1	0	0	-1	0
欧州・地中海沿岸諸国税引前利益	37	88	152	126	19
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	4.3	3.7	3.5	3.5	3.5

(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
欧州・地中海沿岸諸国 (トルコのプライベート・バンキングの2/3を含む)					
営業収益	598	620	541	489	447
営業費用および減価償却費	-453	-422	-348	-343	-348
営業総利益	145	198	193	146	99
リスク費用	-151	-136	-66	-49	-106
営業利益	-6	62	127	97	-7
持分法による投資損益	42	24	24	28	26
その他営業外項目	1	2	1	1	0
税引前利益	37	88	152	126	19
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	4.3	3.7	3.5	3.5	3.5

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
バンクウェスト（米国プライベート・バンキングの100%を含む）*					
営業収益	664	612	566	537	514
営業費用および減価償却費	-475	-388	-353	-336	-366
営業総利益	189	224	213	201	148
リスク費用	-19	-17	-6	-16	-11
営業利益	170	207	207	185	137
持分法による投資損益	0	0	0	0	0
その他営業外項目	3	-1	1	1	3
税引前利益	173	206	208	186	140
ウェルス&アセット・マネジメント帰属純利益	-2	-3	-2	-2	-1
バンクウェスト税引前利益	171	203	206	184	139
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.9	4.3	4.2	4.2	4.2

(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
バンクウェスト（米国プライベート・バンキングの2/3を含む）					
営業収益	655	604	559	531	508
営業費用および減価償却費	-468	-383	-348	-332	-361
営業総利益	187	221	211	199	147
リスク費用	-19	-17	-6	-16	-11
営業利益	168	204	205	183	136
営業外損益	3	-1	1	1	3
税引前利益	171	203	206	184	139
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	4.9	4.3	4.2	4.2	4.2

(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
保険					
営業収益	570	577	538	535	530
営業費用および減価償却費	-305	-279	-262	-253	-287
営業総利益	265	298	276	282	243
リスク費用	0	1	-4	-1	-2
営業利益	265	299	272	281	241
持分法による投資損益	39	17	37	33	37
その他営業外項目	0	0	-1	0	-2
税引前利益	304	316	308	314	276
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	6.6	6.3	6.2	6.2	6.1

(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ウェルス&アセット・マネジメント					
営業収益	723	713	687	726	687
営業費用および減価償却費	-563	-571	-542	-529	-532
営業総利益	160	142	145	197	155
リスク費用	-1	4	0	-4	-3
営業利益	159	146	145	193	152
持分法による投資損益	8	14	11	18	12
その他営業外項目	3	17	2	1	0
税引前利益	170	177	158	212	164
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	1.8	1.7	1.7	1.7	1.7

* プライベート・バンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む。



(単位：百万ユーロ)	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
ホールセールバンキング事業					
営業収益	3,346	2,437	2,519	2,636	2,705
営業費用および減価償却費	-2,266	-1,796	-1,809	-1,821	-1,999
営業総利益	1,080	641	710	815	706
リスク費用	-96	-29	88	-39	-96
営業利益	984	612	798	776	610
持分法による投資損益	8	16	0	25	-4
その他営業外項目	136	4	-1	-6	-6
税引前利益	1,128	632	797	795	600
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	17.0	16.0	15.8	15.8	16.0
コーポレートバンキング					
営業収益	920	965	856	924	788
営業費用および減価償却費	-584	-537	-484	-489	-519
営業総利益	336	428	372	435	269
リスク費用	-74	-26	68	-51	-122
営業利益	262	402	440	384	147
営業外損益	132	8	0	18	-12
税引前利益	394	410	440	402	135
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	8.5	7.7	7.6	7.6	7.6
グローバルマーケット					
営業収益	1,986	1,084	1,261	1,296	1,546
うち FICC	1,266	790	878	788	963
うち株式およびプライムサービス	720	294	383	508	583
営業費用および減価償却費	-1,333	-913	-998	-1,024	-1,173
営業総利益	653	171	263	272	373
リスク費用	-22	-6	19	11	26
営業利益	631	165	282	283	399
持分法による投資損益	13	9	-1	7	7
その他営業外項目	-1	-5	0	-6	-5
税引前利益	643	169	281	284	401
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	8.0	7.7	7.7	7.7	7.9
証券管理					
営業収益	440	388	402	416	371
営業費用および減価償却費	-349	-346	-327	-308	-307
営業総利益	91	42	75	108	64
リスク費用	0	3	1	1	0
営業利益	91	45	76	109	64
営業外損益	0	8	0	0	0
税引前利益	91	53	76	109	64
配賦資本（十億ユーロ、年初来）	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5



(単位：百万ユーロ)

	1Q15	4Q14	3Q14	2Q14	1Q14
コーポレート・センター					
営業収益	137	244	-154	-61	303
営業費用および減価償却費	-556	-385	-297	-340	-240
うち事業再編および変革費用	-130	-254	-154	-207	-142
営業総利益	-419	-141	-451	-401	63
リスク費用	2	-38	1	9	-20
米司法当局との包括的和解に関わる費用	0	-50	0	-5,950	0
営業利益	-417	-229	-450	-6,342	43
持分法による投資損益	18	-27	5	21	15
その他営業外項目	76	-263	43	12	-2
税引前利益	-323	-519	-402	-6,309	56



連結貸借対照表 - 2015年3月31日現在

(単位: 百万ユーロ)	2015年 3月31日	2014年 12月31日*
資産の部		
現金および中央銀行預け金	107,503	117,473
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産		
トレーディング金融資産	227,246	156,546
貸出金およびレポ取引	251,462	165,776
純損益を通じて公正価値で測定する商品	80,865	78,827
デリバティブ金融商品	480,096	412,498
ヘッジ目的デリバティブ	21,263	19,766
売却可能金融資産	270,148	252,292
金融機関貸出金および債権	46,018	43,348
顧客貸出金および債権	696,737	657,403
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整額	5,999	5,603
満期保有目的金融資産	8,436	8,965
当期および繰延税金資産	8,417	8,628
未収収益およびその他の資産	145,806	110,088
関連会社に対する投資	8,008	7,371
投資不動産	1,590	1,614
有形固定資産	18,436	18,032
無形固定資産	2,975	2,951
のれん	11,172	10,577
資産合計	2,392,177	2,077,758
負債の部		
中央銀行預金	9,738	1,680
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債		
トレーディング金融負債	92,445	78,912
借入金およびレポ取引	304,174	196,733
純損益を通じて公正価値で測定する商品	59,430	57,632
デリバティブ金融商品	482,445	410,250
ヘッジ目的デリバティブ	24,956	22,993
金融機関預金	97,989	90,352
顧客預金	688,645	641,549
負債証券	195,824	187,074
金利リスクヘッジポートフォリオの再測定による調整額	5,286	4,765
当期および繰延税金負債	3,552	2,920
未払い費用およびその他の負債	116,125	87,722
保険会社の責任準備金	185,585	175,214
偶発債務引当金	12,415	12,337
劣後債	15,469	13,936
負債合計	2,294,078	1,984,069
純資産の部		
資本金、払込剰余金、および利益剰余金	82,931	83,210
株主帰属当期純利益	1,648	157
資本金等、利益剰余金、および株主帰属当期純利益合計	84,579	83,367
資本に直接認識される資産および負債の変動	9,342	6,091
株主資本合計	93,921	89,458
少数株主帰属利益剰余金および当期純利益	3,937	4,098
資本に直接認識される資産および負債の変動	241	133
少数株主持分合計	4,178	4,231
純資産合計	98,099	93,689
負債純資産合計	2,392,177	2,077,758

* IFRIC 解釈指針第 21 号の適用により修正再表示済み。



破綻処理基金への初回拠出金の影響にも関わらず高い利益成長 2

リテールバンキングおよびサービス事業 4

国内市場部門 4

国際金融サービス部門 7

ホールセールバンキング事業 (CIB) 10

コーポレート・センター 11

財務構造 11

連結損益計算書 13

2015 年度第 1 四半期 – コア事業別業績 14

連結四半期業績の推移 15

連結貸借対照表 – 2015 年 3 月 31 日現在 24

本プレゼンテーションに含まれる数値は、未監査の数値です。2015 年 3 月 24 日に、BNP パリバは 2014 年度の四半期決算に関わる修正を発表しました。かかる修正には、グループの事業部門の新組織体制、および IFRIC 解釈指針第 21 号「賦課金」の適用が特に反映されています。本プレゼンテーションは、適宜、公表済みのあるいは修正された 2014 年度の財務データに基づいています。

本プレゼンテーションには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNP パリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNP パリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルもしくは BNP パリバの主要地域市場における経済状況の変化、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレゼンテーションに含まれるいかなる予測的な記述も本プレゼンテーション発行日現在の予測であり、BNP パリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正もしくは更新する責任を負いません。

本プレゼンテーションに含まれる BNP パリバ以外の第三者に関わる情報もしくは外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独立に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表示または保証を表現あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に関しては確実なものではありません。BNP パリバもしくはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレゼンテーションあるいはその内容の使用により生ずる、もしくは本プレゼンテーションやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。